

養殖ノリの安定生産に向けて（令和6年11月5日）

当センター（養殖生産チーム、企画・普及指導チーム）及び仙台地方振興事務所水産漁港部では、養殖ノリの安定生産に向けて、宮城県漁業協同組合とともに、定期的なノリ漁場調査を実施しています。

今日は、外洋漁場における養殖ノリの育成状況と漁場環境について調査を行いました。

漁場から養殖しているノリを採取して、順調に成長しているか、病気の兆候は見られないか等を調べます。また、現場漁場で水温や塩分を測定するとともに、海水を採取し、当センターに持ち帰り栄養塩の濃度を調べます。ノリは植物なので、生育海域の栄養塩（農業で言えば肥料）がその育成には必要不可欠であり、現場海域の栄養状態を把握することは重要です。

調査結果は、「のり養殖通報」として、漁業関係者向けに通報としてメール・FAXでお知らせするとともに、県HP上で公開しています（<https://www.pref.miyagi.jp/site/yoshokutuhou/nori-eiyouen.html>）。

早いところではノリの摘採（摘み取り）が始まっています。今年もおいしい「宮城県産ノリ」をお届けできるよう、引き続き定期的に調査を行い、漁業者の皆さんへ情報提供を行っていきます。



重ね網（この漁場では6枚重ね）の筏
→ノリは糸のように細く短いです

だいが育っていますが、まだまだです
（生長が進むとノリ網は1枚になります）
→成長のよい葉は10cm以上になっていました



令和6年11月5日調査・5日発行
のり養殖通報（第9報）
宮城県の水産振興課が主催する
水産調査結果を11月5日に公開いたします。

1. 調査概要

- ・ 現場の海水水温は16.1～19.3℃、比重は22.2～23.6でした。
- ・ 三態窒素濃度は2.6～10.0mg/Lでした。リン酸リン濃度は0.2～1.0μg/Lでした。
- ・ ノリの葉長は平均3.1～11.1cm。色調は『やや良い』又は『普通』でした。
- ・ 全調査点で病徴確認は確認されませんでした。

【調査地点図】

生長期の中継調査の留意
・ 三態窒素は50μg/L以上で色調が維持され、
50μg/Lを下回ると色調が劣化する傾向があります。
- ・ リン酸リンは0.25～0.45μg/Lの濃度に
維持する際の適量水産用とされています。

【水質調査結果】

調査名	採取日	水温(℃)	比重(σ _t)	三態窒素 (μg/L)	リン酸リン (μg/L)
聖広	11月5日	18.7	23.8	2.6	0.6
大浜	11月5日	18.8	23.9	3.1	0.6
石浜	11月5日	18.7	23.8	3.8	0.7
聖広	11月5日	18.2	23.6	4.1	0.8
伊達	11月5日	17.8	23.5	5.2	1.0
塩巻	11月5日	16.1	22.9	10.0	1.6
青森	11月5日	17.2	23.2	8.1	1.2
田舎	11月5日	18.9	23.7	4.8	0.8
花巻	11月5日	19.7	23.8	2.8	0.2
黒川	11月5日	19.7	23.8	2.8	0.2
釜淵	11月5日	19.6	23.6	3.7	0.2
飯合	11月5日	19.7	23.9	2.5	0.2

のり養殖通報